



発行日：令和7年5月30日

発行：進路指導係

新緑の季節となり、生徒たちも心地よい気候の中で日々の学習や活動に意欲的に取り組んでいます。今月は、「生活介護事業所の紹介」、「就労選択支援について」、「前期就業体験のお知らせ」の3つの話題をお届けします。お子さまの進路選択の一助となれば幸いです。

1. 生活介護事業所とは？

生活介護は、障害福祉サービスの一つで、主に日中において、常時の支援が必要な方を対象に、入浴、排せつ、食事などの介護や、創作活動、生産活動などの機会を提供する事業所です。本校の卒業生の中には、生活リズムを安定させながら、安心して日中活動ができる場として、生活介護事業所を利用している方が多数おられます。

最近では、農作業や工芸活動、音楽療法、地域との交流イベントなど、個々のニーズに合わせた多様なプログラムを実施している事業所も増えており、ご本人の「やりがい」や「楽しみ」につながっています。生活面での手厚い支援があることで、ご家庭の負担も軽減され、安心して社会生活を送る基盤となります。今回は、「とらいあんぐる」と「おとばの杜」をご紹介します。



【名護市】生活介護事業所「とらいあんぐる」

名護市大南にある「とらいあんぐる」は、明るく家庭的な雰囲気の中で、生徒一人ひとりのペースに寄り添いながら支援を行っている生活介護事業所です。日中活動では、軽作業や創作活動、リラクゼーションなど、無理なく取り組めるメニューが用意されており、安心して過ごすことができます。桜野の卒業生も多く在籍しています。

また、個別支援計画に基づき、生活面の介助だけでなく、日々の体調や気分の変化にも丁寧に対応してくださるため、保護者の方々からも「安心して任せられる」との声が多く寄せられています。送迎サービスもあり、ご家庭の負担軽減にもつながります。穏やかな時間の中で「自分らしさ」を大切にしたい生活を送れる場となっています。



【今帰仁村】生活介護事業所「ソーシャルサポート おとばの杜」

緑豊かな今帰仁村にある「おとばの杜」は、自然とのふれあいを大切にした生活介護事業所です。新聞折りやシール貼り、ペーパーがけなど、地域の環境を生かした多彩な活動が特徴で、五感を使いながらのびのびと過ごすことができます。

利用者の「やってみたい！」という気持ちを大切にしながら、一人ひとりの特性や体調に応じたきめ細やかな支援を実施しており、職員のあたたかく丁寧な対応が印象的です。静かな自然環境の中で、心身ともにリラックスし、自分らしく過ごせる場として、多くの卒業生が利用しています。



2. 就労選択支援について

今年 10 月から、新制度の「就労選択支援」が始まります。「就労選択支援」とは、18 歳の誕生日以降に受けることができる制度で、福祉サービスのうち就労系サービス（就労移行支援や就労継続支援 A 型、B 型）を希望される方に対して、適した事業所の選定を支援するものです。自治体が窓口となり、アセスメント（本人の特性や希望の聞き取り、実際の作業体験など）をもとに、最適な就労系サービスへの導入を図ります。特別支援学校では、高等部在学中に受けることができます。

この制度を利用することで、ミスマッチの少ない進路決定が可能となり、長く働き続けるための第一歩となります。本校でも、就労を目指す生徒に対しては、関係機関と連携しながら、この制度を活用した進路支援を行っています。就労移行支援や就労継続支援 A 型、B 型を卒業後の進路とする生徒は、この支援を受けることが必須となります。

3. 前期就業体験について（6 月 9 日（月）～20 日（金））

高等部では、前期就業体験を、6 月 9 日（月）から 20 日（金）の期間で実施予定です。対象となる生徒は、校外での就業体験を通じて、働くことの意義や自分に合った仕事への理解を深めることが目的です。就業体験では、実際の福祉事業所や企業などでの体験が予定されており、働く環境に身を置くことで、社会的マナーやコミュニケーションの大切さを学びます。

また、生活介護事業所への生活体験や施設見学も行います。生活介護事業所での体験中は、基本的に保護者も一緒に参加し、体験先の施設環境や職員の対応、実習中の生徒の様子などを見ていただき、この体験を通じて、「できたこと」や「今後の課題」を整理し、進路決定に向けた一歩としたいと考えています。

【進路関係資料】

①進路指導の手引き（桜野特別支援学校）

リンクはこちら→[進路指導の手引き](#)



②進路指導に関するお問い合わせ先

リンクはこちら→[問い合わせ先](#)

